

大地の風

加美町農業委員会

加美町字長檀 75-2

☎0229-67-5411

第18号

平成28年3月発行

加美町農業委員会食農教育事業 =さつまいもほい=

おのだひかし園



激動・農業のすがた

会長 我孫子 武二

農業委員会にとってこの三年間は、まさに激しく変動した三年間だったように思います。

四月一日から改正農業委員会法が施行され、県内で最初に加美町農業委員会が新しく生まれ変わることにあります。これまで公選または各団体からの選任により構成されていた農業委員会は公選を基に議会承認の町長任命によって選出されることとなります。地域の代表として農業者の意向が今まで以上に農地施策に反映される活動が求められることとなります。

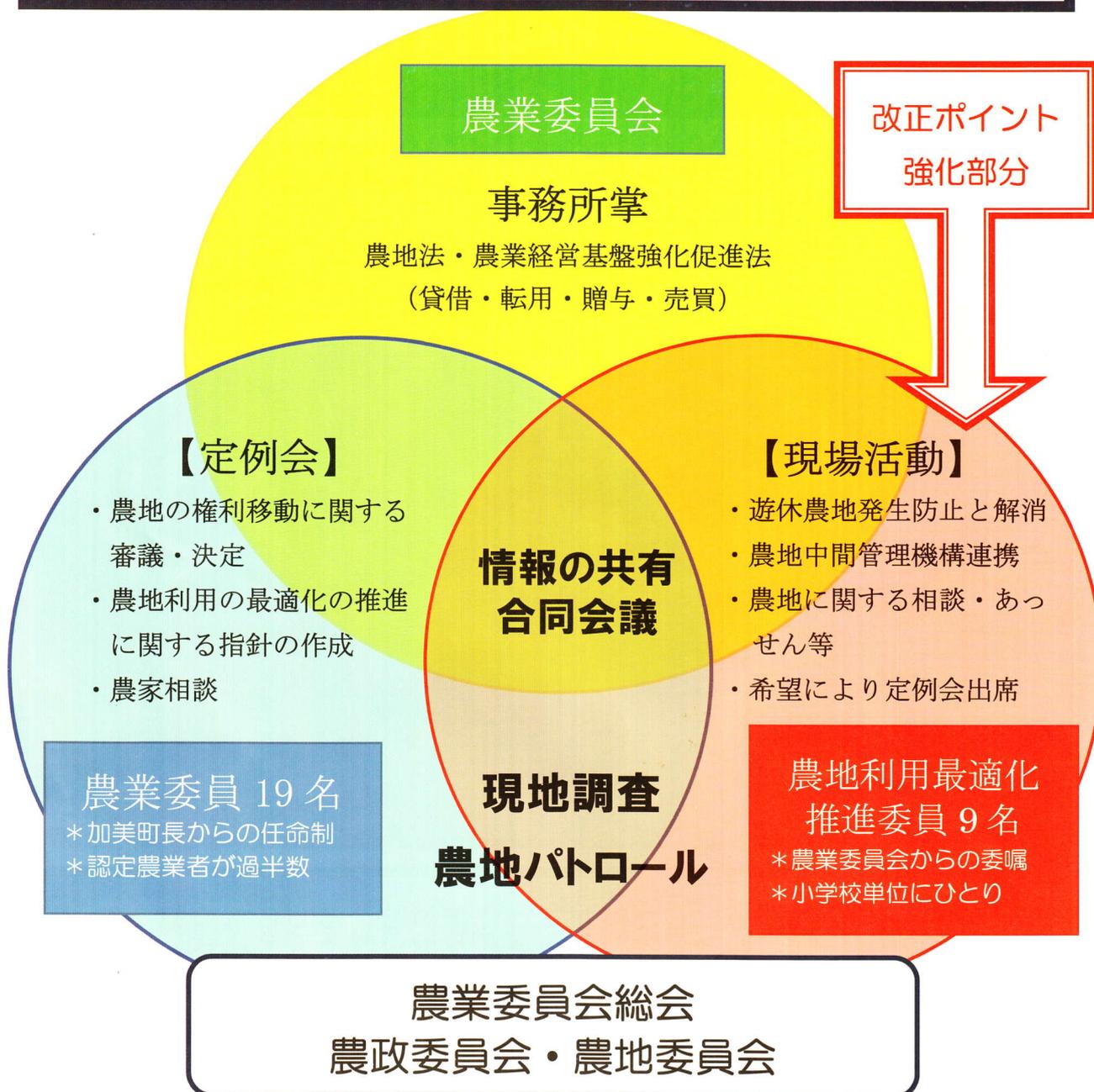
昨年の農林業センサスの中で加美町の農家戸数は、三〇〇〇戸を割りました。グローバル化している現在の厳しい農業情勢の中で、若干ではあります。経営移譲等による若い農業経営者が増えていることも事実であり、またこの難局を乗り越えようと「法人化」へと進んだ集落営農組織もあります。地域の大きな資源である文化、農地を「維持」「最大限に生かす」活動が自信と誇りを持って出来ますよう、農業委員会も組織の強化整備を図りながら、その役割を果たしていくことが地域農業農村の発展と活性化に繋がるものと確信します。

三年の任期末に、これからの農業委員会活動への期待とともに、皆様の御協力をお願いいたします。

トピックス

- ・ 農業委員会が
変わります・・・P2
- ・ 食農教育と地産地消
料理教室・・・P3
- ・ 賃金表
(H28 保存版)
- ・ あるあるQ&A
農業者年金編
・・・P4~5
- ・ 優良農家表彰・・・P6
- ・ 年金加入者の声と
表彰・寄稿・・・P7
- ・ おしらせ・・・P8

農業委員会が変わります



平成28年4月1日から加美町農業委員会は農業委員19名と農地利用最適化推進委員9名で組織されます。農業委員は従来の農地の権利移動の決定(定例会)などのほかに、「農地等の利用の最適化の推進」に関する施策の改善について具体的な意見を町長に提出する責務が加わります。また、新設された農地利用最適化推進委員の活動については、遊休農地の発生防止・解消に向けた農地パトロールや所有者への働きかけに日々取り組んでいただくほか、人・農地プランなど地域の話し合いに参加し、農地の集積・集約化に取り組んでいただきます。

農業委員及び農地利用最適化推進委員は、大地の風：臨時号(5月発行予定)でご紹介します。

さつまいもを掘りました「今年は大きいおいもだぞ！」

食農教育推進事業の開催 10/26~10/27

JA 加美よつば・農業委員会共催



10/26	みやざき園	年中・年長児	42名
	賀美石幼稚園	年中・年長児	26名
10/27	おのだにし園	年中・年長児	21名
	おのだひがし園	年長児	33名
10/27	中新田保育所	年長児	37名

*5月に植えたさつまいもの苗が、大きく育ちました。宮崎地区と小野田地区では、長く伸びた葉茎を力いっぱい引っ張り、その葉茎の下からさつまいもがゴロゴロと出てくると、子どもたちは大はしゃぎ。大きなさつまいもがたくさん取れました。さつまいもは各家庭に配られ、また各園・所でやつとして子どもたちのおなかに入りました。

*この事業は、幼い時期に作物の植え付けから収穫までの一連の農作業を体験することで、土に親しみ食と農のつながりと農業の楽しさを知ってもらうために実施しています。

地産地消を考える料理教室 11月5日開催



- メニュー
- ・牛丼
 - ・野菜たっぷり味噌汁
 - ・畑しめじのマリネ
 - ・白菜の塩昆布和え
 - ・おろしなめこ
 - ・さつまいもチップス



『地産地消を考える料理教室』に参加して

天野 勇一郎 委員

農業委員会の年間行事の一端である料理教室が11月5日に行われました。エプロン姿が似合う委員さん、少しぎこちない委員さんもいましたが、地元の食材を使い、できる料理の説明を受け、料理教室に取りかかりました。

普段あまりやらない委員さんが多く、なれない手つきで皮をむいたり、包丁で切ったりと悪戦苦闘をしましたが、食生活改善推進員さんの指導もあり、和気あいあいとやることができました。あまり地元の食材を知らない私には、とても新鮮に感じられました。

これにとどまらず何かの機会があれば、他団体との交流も含め、もっと食材の良さを知ってもらえる場を増やせればと思いました。

農作業標準賃金表

平成28年度保存版

今年の農作業標準賃金額を次のとおり設定しましたので、農作業賃金の目安としてご利用ください。
 (注意) 標準額に消費税は含まれておりません。

標準額は、「賄い無し」で1日実働8時間とし、整理田を基準にしています。

		単 位	標 準 額		適 用	
一 般 作 業		1 日	軽作業 6,000 円		8時間	
			重作業 8,000 円			
運 搬 作 業		1 日	15,500 円		軽トラック	
オペレーター		1 日	10,000 円		8時間	
水田耕起	耕 起	10a	50a未満	5,200 円	耕深 15cm以上 50a区画以上 300円引き	
			50a以上	4,900 円		
	秋田耕起済分	10a	50a未満	4,000 円		
			50a以上	3,700 円		
ブ ラ ウ 耕 起		10a	6,000 円		30cm以上	
ディスクロータリー耕起		10a	5,200 円		20cm以上	
水 田 代 掻		10a	5,700 円		植代まで	
堆 肥 散 布		10a	3,200 円		積込運搬散布まで (1t/10a標準)	
肥 料 散 布		10a	1,000 円		改良剤、他	
田 植	稚 苗	10a	50a未満	5,200 円	機械植 苗運搬 500円増 側条施肥機 500円増	
			50a以上	4,900 円		
	中 苗	10a	50a未満	5,700 円		
			50a以上	5,400 円		
	ポ ッ ト 苗	10a	50a未満	5,800 円		
			50a以上	5,500 円		
	請 負 稚 苗	10a	50a未満	20,160 円		植込箱数 22箱
			50a以上	19,860 円		
	請 負 中 苗	10a	50a未満	27,460 円		植込箱数 32箱
			50a以上	27,160 円		
直 播	湛 水	10a	50a未満	5,000 円	代掻き済圃場、 種籾・コーティング別	
			50a以上	5,000 円		
苗 代	稚 苗	1箱	680 円		薬剤(殺虫・殺菌)箱処理・ 初期除草剤の散布費用は、 200円/10a増	
	中 苗	1箱	680 円			
	ポ ッ ト 苗	1箱	700 円			
薬剤散布	粒 剤 ・ 粉 剤	10a	800 円		薬剤含まず	
	ブームスプレーヤー	10a	1,000 円			

		単 位	標 準 額		適 用	
牧 草 稲 わ ら	梱 包	10a	3,100 円		一貫作業 10,000 円	
	刈 取	10a	3,100 円			
	反 転	10a	3,600 円			
	集 束	10a	1,500 円			
	ラッピング	1 個	500 円		直径 1m、フィルム代別	
稲 刈 り コンバイン	刈 放	カッター	10a	50a 未満	14,000 円	生糶運搬 1,000 円は別。 倒伏田は割増料金。
			10a	50a 以上	13,000 円	
	結 束	10a	50a 未満	15,400 円		
		10a	50a 以上	14,300 円		
乾 燥		60 kg	800 円		もち米 10%割増。くず米含む。 乾燥歩合により異なる。 水分 25%以上は 20%割増。	
糶 摺 調 整		60 kg	550 円		くず米含む	
精 米		60 kg	600 円		玄米から白米	
畦畔つき作業		1m	50 円			
畦畔管理	草 刈	10a	1,500 円		ほ場整備済み。(機械・燃料費込み) 法面は、相互協議の上割増。	

*ほ場の条件、作業内容等により通常と異なる場合は、両者で協議のうえ決めてください。

*ほ場の畦畔、水路の除草を適正に行い、農地の管理にご理解とご協力をお願いします。

平成28年度 参考賃借料情報

農 地 区 分			参考賃借料	適 用
田	510kg	A	14,000 円	未整備田または 20a 未満については、 10a 当たり 3,000 円引きとします。
	480kg	B	11,000 円	
	450kg	C	8,000 円	

*平成27年の賃借料の実績に基づき、参考賃借料として示したものです。

*畑(普通畑)の賃借料については、平成27年実績で加美町平均4,029円/10aです。(参考)

よくあるお問い合わせ！Q&A 農業者年金経営移譲年金編

Q：経営移譲年金を受給していますが、農地中間管理機構に貸し出すと年金はどうなりますか？

A：後継者移譲で経営移譲年金(加算なし)を受給している方は、貸し出す割合で加算付となる場合があります。例えば、年金を請求する当時息子が社会保険だった場合、年金は加算なしとなりますが、中間管理機構に貸しなおすことで加算付になることがあります。この場合、息子との使用貸借契約の状況や、中間管理機構に貸し出す面積なども関係します。

また、現在加算付を受給の方は、引き続き加算付を受給することになります。

なお、農地を宅地(駐車場)にしたり(無断転用)、延長の手続きを怠っていた場合等は年金が停止しますので、まずは農業委員会へお問い合わせください。 ☎67-5411

優良農家表彰

農業委員会では、平成28年1月26日、第2回総会において町の農業振興に大きく貢献された3名の方々を表彰しました。

東鹿原 小山 勝郎 さん（61歳） 畜産・水稻経営で表彰



農学寮を卒業後就農し、水田中心に小頭数の酪農と高原大根の栽培から農業を始めた。結婚を機に乳用牛を増頭し、平成元年に30頭規模のつなぎ式牛舎を新築し安定経営を行ってきた。平成15年長男が就農。フリーストール牛舎を新築するなど先進的な技術を導入。宮城酪農にあっては地域の役員を務め、現在は家族経営で60頭を飼育し良品生乳生産に励んでいる。

【小山さんから一言】 私が就農して45年になります。専業農家として農業と向き合ってきたのであります。その間には水稻だけではなく、畜産にも力を入れてきました。幸いな事に後継者にも農家としての自覚が表れてきたように思われます。今後、農業がどのように変化してゆくのかわかりませんが、地域共々、農地の維持は必要でその一端の力になればと思っています。

菜切谷 川熊 敬之 さん（38歳） 水稻・野菜（ネギ）経営で表彰



平成22年に脱サラし農業後継者として父と共に農業経営に携わってきた。平成27年、父と共同で認定農業者となり、稲作6ha、転作地にネギ50aを作付けし、100坪のハウスに春秋の彼岸用・お盆用として切り花を栽培し販売している。近年はホウレンソウの栽培にも力を入れ、複合経営の確立を模索している。

【川熊さんから一言】 TPP、農協改革により、日本の農業は大きく変わろうとしています。農産物価格の下落、外資との競合、法人の買収などこれまで以上に世界状況を考える必要に迫られています。それに対し、知恵を絞り地域の力で乗り越えていかなければならないと思います。皆様にご指導いただき、先人の教えを受け継ぎつつ頑張っていきたいです。

西川北 今野 清人 さん（37歳） 水稻・畜産経営で表彰



短期大学を卒業後、1年間の研修を経て親元に就農。父と二人で、水稻9.5haと繁殖牛6頭の複合経営を行い、平成26年、父と共同で認定農業者となった。集落の期待と信頼も厚く、集落営農組合の中心的農家として地域の農業を担い今後の活躍が期待される。

【今野さんからの一言】 今回、表彰いただきました。誠にありがとうございます。担い手不足、TPPと農業の危機が言われる中、今後、我々の世代が果たす役割は大きいと思います。大変ありがたいことに私の周りには農業を志す同世代がいます。この仲間たちと共にこれからも百姓をしていきたいと思っています。多くの皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

私たち農業者年金に加入しました！

加美町では、今年6名の方が農業者年金に加入されました。加入者の声を届けます。

＊猪股 俊宏さん（北永志田）

今年、本格的に親元に就農し、認定農業者として共同経営を確立し、家族経営協定を結びました。農業者年金は家族から勧められ説明を聞きました。私は国の政策支援を受けられる公的年金制度であることを知り、自分のために積み立てられるところに魅力を感じ、納得もできたので加入を決めました。

＊年金ワンポイント！政策支援とは、青色申告で認定農業者の経営者と家族経営協定を結ぶことで最大1万円の国の補助が受けられ、本人の納付する負担が軽減される制度です。

＊佐藤 明さん（雷）

きっかけは、やはり将来のことを考え、子育てもひと段落したので、私の年金について主人に相談しました。農業委員会でも説明を受け、主人はすでに農業者年金に加入していたので、快く承知してくれました。農業者年金は終身年金で、万が一の時でも80歳までの年金を家族が受け取れる保証がありますから、掛け捨てにならないことが加入の決め手となりました。主人だけでなく私も一緒に受け取れるのは、やっぱりうれしいですね。



東京大学大学院 鈴木宣弘教授

TPP大筋合意に思う

加美町認定農業者連絡協議会長 佐々木 郁郎

我々農業者は、自然相手の仕事をしているからなのか、「物事の裏を読む」という事には不慣れの感があります。

東京大学大学院の鈴木宣弘教授による基調講演を頂きましたが、TPP反対論者として有名な鈴木教授への期待の高さからか、TPP大筋合意を受けての、将来への不安の高まりからか、予想以上の参加者が在り盛況でありました。

TPP交渉は秘密交渉であり、今回の大筋合意を受けて初めてその内容が政府から公表されると、国会承認の議論も始まらぬ内に国内農業への影響と対策大綱が異例の素早さで公表されました。これが更に「既に決まった事」として交渉自体の議論を受け付けられない政府の姿勢を感じさせています。

内閣府の影響試算において前回は農林水産業の損失3兆円としていたのが、なぜ一千三百億から2千億程度にとどまる事になったのか。交渉参加の条件とした、「重要5品目は交渉除外」の国会決議は如何したのか。5品目内の586細目のうち174細目が関税撤廃、残り全細目大幅な関税削減の内容が国会決議違反でないのは何故なのか。我々農業者にとって到底納得出来ない事だらけであるが、年が明けると、農林水産省による「農政新時代」と銘打った全国キャラバンがスタートした。その説明会に参加すると今度は、米に対する影響は無い。と言い切られ、27年度補正予算は4千8億円で、うちTPP関連対策3千122億円の大型補正であり、年度内期限の無い基金化の予算もあります。更に28年度概算決定額は27年度同等の2兆3千91億円ですから万全です。何の心配もありません。との説明でありました。あたかも、これだけの対策を打ち出したのだから、これで衰退消滅する様な農業者は国策として必要無い。と言わんばかりである様に感じてしまうのです。

大震災を経験した我々は、ここで「裏を読む」事をしなければ成らないのだろう。好条件の基に経営の大規模化、高度化を成し国際競争力を得た者だけで、国土の保全、食の安全・安定化は出来ないし、一度失われた自然界の機能や地方の文化を取り戻す事は出来ないのだから。新聞によると、TPP対策の豚マルキン拡充に米国議会から早速見直し要求が有った様だ。今後益々同等の事案が繰り返される事だろう。国策が大規模化、高度化に向かって旗を振るならば、補助助成対象者としての準備を怠り無くし、マーケットイン型の経営と自らの生産物のファンを獲得して行く経営を模索し続けなければならないと強く思わずには居られないのです。

～長年の御功績を讃えて～

第59回宮城県農業委員大会
平成27年11月30日 まほろばホール＝

＊宮城県農業会議会長表彰

農業委員

早坂 良平 さん

農業委員として15年、
永年勤続農業委員として
表彰されました。



【認定農業者関係】

加美町認定農業者連絡協議会

会長 佐々木郁郎様より寄稿

平成28年2月1日、アインパルラ浦島において大崎地域認定農業者連絡協議会研修が開催され、「TPPの大筋合意と農業経営への影響」と題し、東京大学大学院農学生命科学研究所教授の鈴木宣弘氏の基調講演が行われました。

新たな農業委員会に帰する

農業委員 津嶋敏光
(農業共済組合推薦)

皆様におかれましては暖冬の折、立春を過ぎて正しく季語のごとく春を迎えようとして、忙しい日々を送っておられる事と思います。

さて、私も農業共済組合から推薦を受けて加美町農業委員に就任してから足掛け四年目になりました。今年の三月末日をもって無事任期満了を迎えますのは皆様のご指導の賜物と感謝を申し上げます。四月からは新しい制度の下で新たな農業委員会に生まれ変わります。公選制を改め認定農業者を中心にした任命制で年齢層や地域のバランスを考慮し地域の農

業を全力で応援できる体制だと伺っております。自分なりにもこの数年間の経験と学んだ事を糧として、昨年、十数農業法人の仲間たちと『加美町農業法人協議会』の設立に漕ぎ着け、農業が若年層にとって魅力のある職業として位置づけられるように「福利厚生」等の勉強会を開催したり先進農業法人の「視察研修会」を計画しています。

新たな担い手を発掘し育成していく事が加美町農業の活性化、発展に繋がると信じている者のひとりとして、これからも仲間と共に研鑽を重ね努力して参りたいと思っておりますので多くの若者に対して、沢山の理解とエールをお願いし、私の眩きとさせていただきます。

農地の権利移動・設定・転用等の状況

＝平成27年度下半期2月分まで＝

項目	事由	件数	面積㎡	
農地として利用 するための移動 農地法第3条 許可	所有権 移転	売買	7	15,923
		贈与	17	66,104
		交換	7	10,673
		小計	31	92,700
	賃貸借権の設定	16	30,031	
	使用貸借権の設定	5	35,329	
	合計	52	158,060	
賃貸借の解約(農地法第18条通知)		61	352,287	
農地として利用 するための移動 農用地利用 集積計画	利用権の設定(賃貸借)	53	396,009	
	利用権の設定(使用貸借)	4	38,929	
	所有権移転(売買)	16	115,506	
	所有権移転(交換)	0	0	
	農地中間管理事業	152	2,088,085	
	合計	225	2,638,529	
農地の転用 農地法第4・5条 許可	自己転用	3	760	
	権利移転を伴う転用	21	16,169	
	合計	24	16,929	

☆次回の大地の風は臨時号☆

平成28年4月1日加美町長より任命された新しい加美町農業委員の皆さんを紹介します。

発刊は、平成28年5月中旬を予定しています。

委員	委員	委員	編集委員
小 山 京 子	澁 谷 幸 悦	尾 出 弘 子	近 山 明 美
板 垣 文 一	近 田 利 樹	委員	
副委員長	委員		
委員			

女性

農業委員が綴る

つれづれだより

「今話題の真空調理」

*食材の中には空気があり、真空にすることで調味液が食材の中に入りやすくなり、味も良いのです。食材から水分もかなり出ます。味付けはいつもどおりにやっています。

*作り方はかんたん。

①鍋に湯を沸かします。

②食材(魚や肉の切り身)をビニール袋に入れ、調味料(砂糖・酒・しょうゆまたは味噌など)も加え空気を抜き、口をきつく結びます。

③沸騰した鍋の中に②を入れ、ふたをして3分〜5分煮ます。火を止めて、30分ほど置いて出来上がり。

☆さんまを骨ごと柔らかくする☆

*さんまは頭と内臓を取り、食べやすい大きさに切りまします。冷凍保存パックなどのビニール袋に入れ、砂糖・しょうゆ・酒・しょうがを入れ、空気を抜き、炊飯器に水とさんまの袋を入れ保温にして、一晚(10時間くらい)置くことができます。

*なべひとつで水は何回でも使えるし、こげたり洗う心配も少なくてすみます。ぜひ一度やってみてください。

富山 明美